



徳島県沿岸海域及び河川の栄養塩について

<水質環境担当>

○栄養塩とは

栄養塩とは、植物プランクトンや海藻などの栄養となる無機塩類の総称です。主に、リン酸態リン、ケイ酸態ケイ素、溶存態無機窒素（DIN）を指します。近年、徳島県沿岸海域では、ノリやワカメの色落ちが問題となっており、海域における栄養塩の減少が原因のひとつであると推定されています。

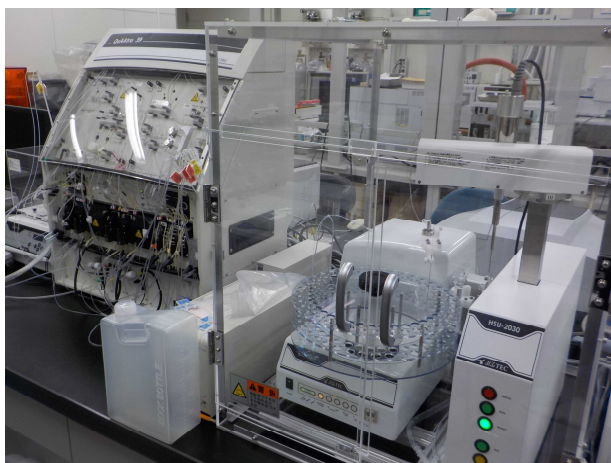
溶存態無機窒素(DIN)=亜硝酸態窒素(NO₂-N)+硝酸態窒素(NO₃-N)+アンモニア態窒素(NH₄-N)

○栄養塩のよりよい活用に向けて

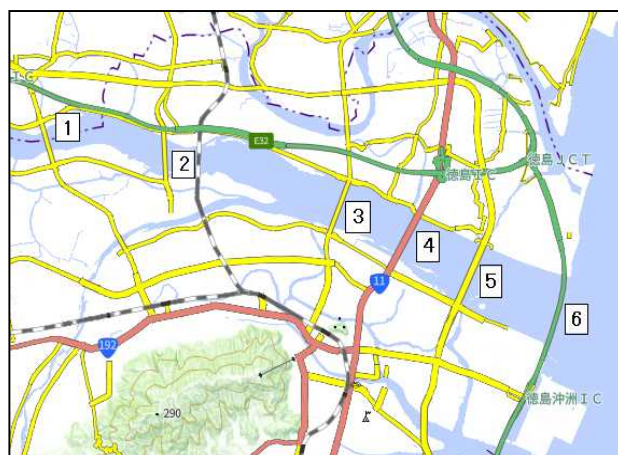
沿岸海域への栄養塩の供給源のうち、最も重要なのは河川をはじめとする陸域からの供給であるといわれています。平成29年度に行った吉野川上流から河口域までの水質実態調査に続き、令和5年度から始まった調査研究では、栄養塩が、季節や潮の満ち引きの影響で、河川から海へ流入するまでにどのように濃度が変動するか調査しています。豊かな徳島の里海づくりに活かすため、詳細な水質調査により栄養塩の変動の特徴把握に取り組んでいます。



吉野川橋付近での水質調査



オートアナライザーによる栄養塩の測定



出典 国土地理院 Vector

水質調査地点